



# 地域医療連携室だより

## Vol.175



発行元 地方独立行政法人  
市立大津市民病院  
地域医療連携支援センター 地域医療連携室  
住所 〒520-0804  
滋賀県大津市本宮二丁目9番9号  
電話 077-526-8192  
FAX 077-522-0192 発行日:2023年12月1日

市立大津市民病院 検索

だより内に が 5ヶ所登場しています。ぜひ探してみてください。疫病退散。

### 感染症科のご紹介



# 当院の COVID-19 診療実績

感染症科 診療部長: 辻 桂嗣

### 当院のCOVID-19診療実績

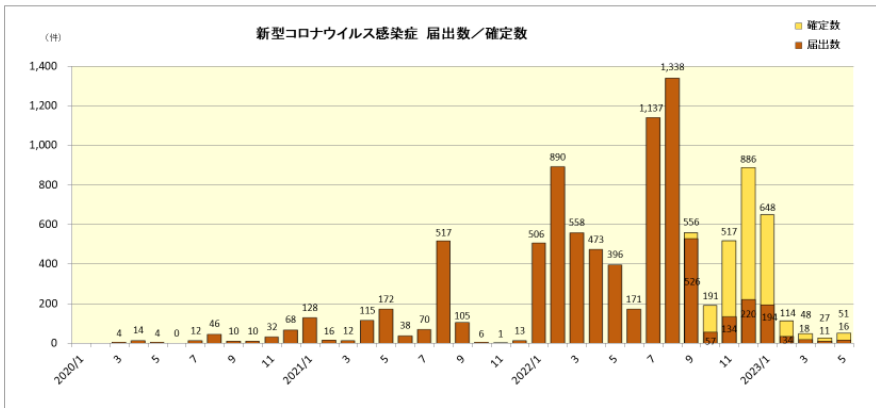
市立大津市民病院からのCOVID-19発生届 届け出件数 (2023年5月8日まで)

年/月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	累計
2020年			4	14	4	0	12	46	10	10	32	68	200	200
2021年	128	16	12	115	172	38	70	517	105	6	13	13	1,193	1,393
2022年	506	890	558	473	396	171	1,137	1,338	526	57	134	220	6,406	7,799
2023年	194	34	18	11	16								273	8,072

(注)確定済及び類似症届出のうち届け出となり、発生届を提出した件数合計

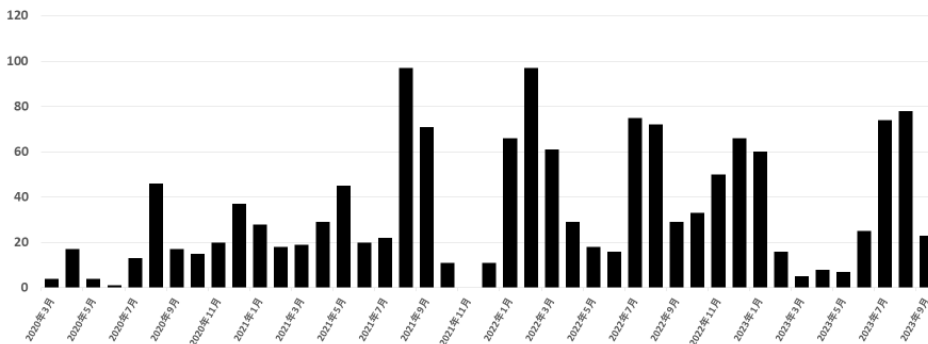
滋賀県の累計  
新規感染者数  
376,504人

2020年3月に滋賀県初のCOVID-19確定患者の入院以降、2023年5月8日の感染症法の5類への分類変更までで当院で計8072例の届け出/確定を行いました。同期間の滋賀県の累計新規患者数は376,504人であり、約2.1%程度となりますが、2021年12月までは大津市の感染者数の35%を占めており、2022年1月以降は当院以外への医療機関及び自宅での抗原キットによる診断が増加したと考えられます。



### 当院のCOVID-19診療実績

COVID-19入院数



当院の入院症例数は、第5波と第6波でそれぞれ一月当たり97例が最高値でした。自宅療養者が増加した第6波以降も満遍なく入院症例を受けておりました。人工呼吸管理症例80例、ECMO症例11例の診療を行っており、特に重症患者の診療に関しては、県内トップクラスの貢献度と考えております。

総入院数 : 1453 例  
人工呼吸管理数/ECMO症例数 : 80 / 11 例

(2023年9月末日まで)

## 大津市医療圏のCOVID-19救急搬送困難事例

### 近畿地方の救急搬送困難事例（2022年1月～2023年2月）

各消防の週当たりの最多件数(期間)、最少件数(期間)を表示。  
(救急搬送困難事例: 医療機関への受入照会4回以上かつ現場滞在時間30分以上の搬送症例数)

- ・三重県 四日市市消防 16件 (2023年1月9日～15日)、0件
- ・滋賀県 大津市消防 2件 (2022年1月10日～16日・2月28日～3月6日・3月28日～4月3日・11月7日～13日)、0件
- ・京都府 京都市消防 240件(2023年1月9日～15日)、19件(2022年6月13日～19日)
- ・兵庫県 神戸市消防 208件(2023年1月9日～15日)、14件(2022年5月30日～6月5日)
- ・奈良県 奈良市消防 64件 (2022年12月26日～2023年1月1日)、1件(2022年6月13日～19日)
- ・和歌山県和歌山市消防 33件 (2023年1月9日～15日)、0件(2022年5月2日～5月8日)

(総務省のデータを改変)

大津市の発熱患者の搬送応需に当院は大きな役割を果たしてきた。

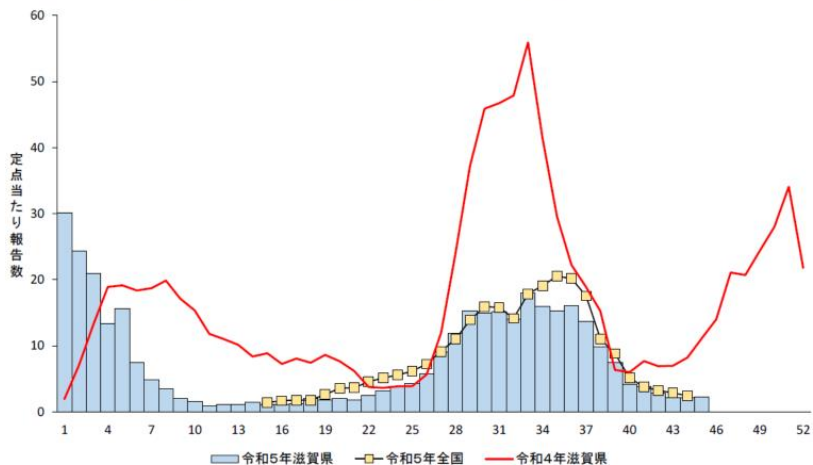
また更に、発熱症例の救急搬送応需にも尽力してきました。

2022年1月～2023年2月にかけて京都市、神戸市などで搬送困難例が多発しましたが、大津市では最大1週あたり2例が計4回のみでした。またこの時期大阪府、京都府からの救急搬送依頼にも応需するなど当院は病院全体を挙げて発熱救急患者の応需に尽力してきました。

## 現在の滋賀県内 COVID-19感染症の動向

滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報 令和5年第45週

### 4. 滋賀県と全国の COVID-19 の発生动向 (全国は前週まで掲載)



滋賀県のホームページより転載

現在の COVID-19 感染症の動向ですが、今夏第9波は収束傾向となり定点当たりの患者数は減少しております。

## 現在の滋賀県内 COVID-19感染症の動向

### 新株BA.2.86の動向が注目される

30カ所を超えるスパイク変異を持つため監視中の変異株として指定されているBA.2.86系統については、これまでの変異株の中でも最も中和されにくい変異株であることが明らかになっており、今後の動向にも注意が必要である。  
(令和5年9月19日東京大学医科学研究所)

これまで変異株の出現毎に大きな感染流行を繰り返しており、現在BA.2.86の感染拡大の有無が注目されております。

# Innovation Awardを 受賞いたしました

この度、河内理事長が日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会より、Innovation Awardを受賞いたしました。

【Innovation Awardとは※日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会 HP より】  
日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会は、泌尿器内視鏡、低侵襲治療の分野において新たな技術や治療法の開発、あるいはその教育、普及に多大な貢献をした会員にInnovation Awardを贈呈する。



# 体験型市民公開講座「侮れない脂肪肝」を 開催いたしました

- 日 時: 令和5年11月25日(土)9:30~12:30
- 場 所: 市立大津市民病院 外来2階フロア、生理検査室
- 講 師: 副院長/消化器内科診療部長 高見 史朗  
管理栄養士 山本 順子

今回、体験型市民講座として、臨床検査技師による腹部超音波検査で脂肪肝レベルのチェックと、医師と管理栄養士から脂肪肝についての講座を行い、当日37名の参加がありました。

参加者からは「脂肪肝のこわさを知り、勉強になりました。」「講義の前に検査を受け、自分の肝臓の状態がわかったので、講義への関心が高まって良かった。」などのご意見がありました。



# 「平野学区 健康フェスティバル」に 参加いたしました

- 日時: 令和5年11月19日(日)9:00~12:00
- 場所: 平野コミュニティセンター 2階 会議室1

平野学区自治連合会主催の健康フェスティバルに当院からも参加しました。今回は、骨密度、血糖を測定後、栄養相談や健康相談では医師に糖尿病など気になることを相談して頂きました。当日健康フェスティバルには約140名の参加がありました。



今後も市民の皆様の健康の保持・増進のための活動を行っていきたくと考えております。



# 2年目研修医 note



出身大学・卒業年度: 京都府立医科大学 2021(令和3)年度



趣味・特技・好きな時間の過ごし方など: 筋トレ・スポーツ観戦



医師を目指した理由: やりがいがあり、人を助けることのできる職業であるから。



どんな医師になりたいですか?: 患者様だけでなく医療関係者からも信頼される医師



研修医2年目の目標:

3年目に向けて自分が進む専門科以外のこともしっかりと学んでいきたいです。



地域の先生方へのメッセージ:

微力ではありますが、地域医療へ貢献できるように精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。



つぼくら まさゆき  
坪倉 正行

## ドクターカー運用開始について

- ・11月からドクターカーの運用を開始しました。
- ・救急隊からの要請を受け、病院の救急車で救急医及び看護師が現地に向かい対応を行うとともに、必要に応じて病院などの医療施設への搬送を行っています。」
- ・運用 8:30~17:00

### ドクターカー出動!



MSW  
アイコさん



作・画 まきろん

①

退院支援機能強化事業  
全体研修会

県内58病院から  
多職種約120名が  
集まりました

②

自分らしい最期を迎える  
ための絵本  
「サイ五郎さんちの人生会議」

テーマは  
「ゼロからはじめる人生会議  
(ACP)」

「人生会議」や「リビングウィル」について、とてもわかりやすく描かれています

③

大切な人は  
誰ですか?

最後の晩餐は?  
ワイ

対話カードを使って  
グループワーク

その人の人生を知る  
会話のきっかけ作り  
になります

④

普段から大切な人と  
話し合うことの大切さを  
実感しました

元気なうちに  
「もしもの時にどうしたいか?」  
とは考えにくいですが  
聞きにくいことですが

「サイ五郎さんちの人生会議」  
日本医療企画 絵と文: 今川ゆみ